

1. 授業のテーマと目標

本講義の目的は、病院の人的資源管理を、組織学習、リーダーシップ、医療の質と経営効率の観点から理解することにあります。具体的には、医療組織における学習やリーダーシップ、および医療の質と経営効率の考え方を理解した上で、それらの知識を身近な状況に応用する力を養うことを目標としています。

2. 授業の概要と計画

講義のスケジュールは以下の通りです。

第1回目 11月20日

テーマ：オリエンテーション、医療組織における学習とリーダーシップ

1限2限

組織学習のプロセス、病院組織の特徴、共有型リーダーシップについて講義します（オンライン講義）。また、講義の内容をグループで議論し、質疑応答を通して内容理解を深めます。

事前課題

特になし

事後課題

講義および質疑応答を踏まえて、教科書（松尾睦『学習する病院組織』同文館出版）の2章から4章の事例部分を読み、「3病院（淀川キリスト教病院、聖霊浜松病院、医療生協さいたま）の（後期における）マネジメントそれぞれについて「優れている点」と「課題」をA4用紙1枚にまとめ、第2回目授業の当日（授業終了後）に提出してください。この課題は第2回の事前課題でもあります。

第2回目 11月27日

テーマ：病院組織の事例分析

1限 淀川キリスト教病院、聖霊浜松病院、医療生協さいたまの3事例に関するグループ・ディスカッション（3事例のマネジメントについて「優れている点」と「課題」を分析する）

2限 グループ発表と全体ディスカッション

なお、講師によるファシリテーションはオンラインで行います。

事前課題

教科書（松尾睦『学習する病院組織』同文館出版）の2章から4章の事例部分を読み、「3病院（淀川キリスト教病院、聖霊浜松病院、医療生協さいたま）の（後期における）マネジメントそれぞれについて「優れている点」と「課題」をA4用紙1枚にまとめ、第2回目授業の当日（授業終了後）に提出してください。

事後課題

授業のディスカッションを基に、病院組織が学習する上で重要になるポイントについてさらに深く考察してください。この課題に関するレポート提出の必要はありません。

第3回目 12月4日

・

テーマ：医療の質と経営効率

1限2限：医療の質と経営効率についての講義を行います。

医療の質と経営効率が両立しえるか否かというのは、実際の医療機関では未だ解決されない大きな問題です。近年は、医療費の高騰に伴い医療にも経営効率が求められ、グローバルスタンダードが取り入れられて来ています。さらに本邦では皆保険制度の下で、診療報酬にはDPC制度が導入され隔年ごとの係数の見直し等で医療情勢（特に診療報酬）が政府主導で刻々と変化しています。このような状況で、従来の医療の質が保たれるのかどうかは大きな問題です。

医療組織は、基本的には非営利組織であり、その構成員は医師、看護師、薬剤師、放射線技師などの専門職と事務職からなりますが、特に医師には「医療は金もうけではない、重症例を治療すると赤字になるのはしょうがない」という思いや、医療者と患者やその家族との関係は欧米のようなドライなものではない など経営重視に対する根深い抵抗感があるのも現実です。

第3回第4回を担当します築部は、神戸大学経営学研究科MBAの卒業生であり、また現職の心臓外科医ですので、実務家の立場から医療の質と経営効率についての講義を行います（対面式の講義：六甲台）。また、講義の内容をグループで議論し、質疑応答を通して内容理解を深めます。

事前課題

特になし

事後課題

授業中のディスカッションを基に、授業後に配布する「院長インタビューデータ」を読み、「医療の質と経営効率を両立する上で重要になる（院長による）マネジメント3点」をA4用紙1枚にまとめ、次回の授業時に提出してください。この課題は第4回の事前課題でもあります。

第4回目 12月11日

テーマ：医療の質と経営効率に関するディスカッション

1限 院長インタビューデータを読み、内容についてグループ・ディスカッションを行います（医療の質と経営効率を両立するために、院長はどのようなマネジメントをすべきか）

2限 グループ発表と全体ディスカッション

これらのインタビューを通して医療の質と経営効率について、医療組織のトップマネージャー（理事長、院長、病院管理者 など）のマネジメントについて考察します。

事前課題

事前に配布する「院長インタビューデータ」を読み、「医療の質と経営効率を両立する上で重要になる（院長による）マネジメント3点」をA4用紙1枚にまとめ、授業後に提出してください。この課題は第3回の事後課題を兼ねています。

事後課題

授業におけるディスカッションを基に、医療の質と経営効率を両立する上で重要になる（院長による）マネジメントについて各自の考えをまとめてください。この課題に関するレポートの提出は必要ありません。

なお、授業を欠席する場合には、下記アドレス宛に、電子ファイルでレポートを提出してください（授業翌日までに）。

松尾 mmatsuo@econ.hokudai.ac.jp

築部 t-tsukube@kobe.jrc.or.jp